

子どもたちのための考古学情報誌 第14号

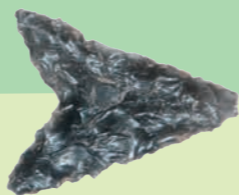
エッツ こうこがく



2018

 長崎県埋蔵文化財センター

発掘のおしごと



ココヤシ苗ちゃん

ねえ、Dr. ハル、遺跡って何なの？

遺跡とは、
「昔の人が暮らした跡」のこと。
ワシらの祖先が生きた証なのじゃ！



Dr. ハル

家やお墓の跡、道や田んぼ、工場の跡など、昔の人が地面などにつくったものを「遺構」といいます。お城の跡や王様のお墓など豪華なものだけでなく、ゴミ捨て場や溝の跡だって立派な遺構です。

遺構とは別に、昔の人が作った道具などを「遺物」といいます。木や布、紙でつくった物でも残っていることがあり、丸木舟や弓矢、布などが出てきます。錆びやすい金属の道具も無くならずに残っていることがあります。反対によく残っている物は土器などの焼き物や石器です。

そして、これらの「遺構」や「遺物」がある場所を「遺跡」と呼んでいます。

長崎県にはいくつの遺跡があるの？

なんと！ 21 市町あわせて 3,800 ぐらいあるんじゃ！

長崎市 : 286 遺跡	対馬市 : 330 遺跡	時津町 : 20 遺跡
佐世保市 : 506 遺跡	壱岐市 : 473 遺跡	東彼杵町 : 67 遺跡
島原市 : 102 遺跡	五島市 : 142 遺跡	川棚町 : 31 遺跡
諫早市 : 282 遺跡	西海市 : 177 遺跡	波佐見町 : 60 遺跡
大村市 : 221 遺跡	雲仙市 : 216 遺跡	小値賀町 : 108 遺跡
平戸市 : 330 遺跡	南島原市 : 148 遺跡	佐々町 : 19 遺跡
松浦市 : 162 遺跡	長与町 : 23 遺跡	新上五島町 : 79 遺跡

平成 28 年度 長崎県埋蔵文化財センター調べ

発掘ってどうやってやるの？



まずは遺構を探すのじゃ。
遺跡の土をていねいに掘ることが大事じゃ！



古い地層を平らに削って遺構を探しているところです。黒っぽく丸く見えるのが家の柱の跡です。昔の人が地面に穴を掘って柱を立て、家が無くなり穴が土で埋まった跡です。

遺構を見つけたら、遺構に埋まった土を掘って調べるのじゃ。



柱の穴が並んでいます。これが家の跡の一部です。柱の穴の跡に埋まった土をていねいに掘ると、柱を支えた石や土器のかけらが出てきます。

昔の地面を掘っていくと、土器や石器のかけらなどの遺物もワンサカ出てくるぞ。



ていねいに掘ると小さな遺物も見つかります。石で作った長さ 2 cm くらいのアクセサリーも見つかりました！



石のアクセサリー

ただ掘るだけではないぞ。遺構や遺物が出てきた様子の写真を撮ったり、図面を描いて記録を残すのじゃ！



この記録があると、開発や自然災害などで遺跡がなくなってしまうと遺跡のことが分かります。日本や海外の他の遺跡と比べることもできます。歴史や文化が詳しく分かるんです！

おしえて！ Dr. ハル 埋蔵文化財センターのひみつ



とうか えつせんきつえい そうち
透過 X 線撮影装置



もつき ほかんようゆかしたすいそう
木器保管用床下水槽



わぁ！すごい機械だね。となりの写真はフルかな？
これは、何の写真なの？

これは、遺跡から見つかったものを調べたり、
木製品を保存しておく部屋の写真じゃ！！



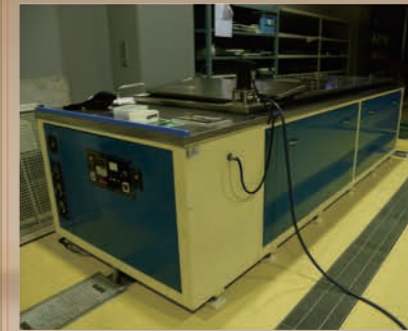
ほぞんしより 保存処理とは？

保存処理とは出土した遺物に施す治療のことです。遺物には土器や石器
などさまざまなものがあります。その中でも水分を多く含む木製品やサビ
で覆われている金属製品はそのまま放置しておくとは変形したり、状態が悪
化してしまいます。そのような遺物には保存処理が必要です。肉眼観察や
精密機器を駆使して遺物の診断をおこない、それぞれの遺物に適した保存
処理を施していきます。

もくせいひん ほぞんしよりしつ 木製品保存処理室

ここでは、ポリエチレングリ
コール（PEG）という、木製品を
頑丈にする薬を染み込ませるた
めの水槽や、木製品の元の形を
保ったまま乾燥させる機械があ
ります。

最近では、お菓子の材料にも
なるトレハロースを使った保存
処理の研究もしています。



がんしんしより そう
含浸処理槽



しんくう どうけつかんそう き
真空凍結乾燥機

せいみつぶん せきしつ 精密分析室

ここは遺物を科学的に詳しく調べるための研究室です。

遺物のレントゲン写真をとるた
めの透過 X 線写真装置や、3D データを
取る三次元計測器と 3D プリンター、
遺物の中にどんな元素が含まれてい
るか調べる蛍光 X 線分析装置などの
機器がそろっています。



3D プリンターで作成したレプリカ



けいこうえつせんぶんせきそうち
蛍光 X 線分析装置

しゅつど ひんせい りしつ 出土品整理室

発掘調査等によってセンターに持ち込まれた遺物に
は、土が付いたままのものや、壊れているものがありま
す。それらを洗浄し、修理し、復元する部屋が出土品整
理室です。また、数人のスタッフが遺物を計測して図面
を作成しているのもこの部屋です。博物館で見ることの
できる遺物のほとんどはここで修理・復元をしています。



作業風景

最後にお知らせじゃ！長崎県埋蔵文化財センターでは、
毎月バックヤードツアーという一支国博物館の舞台裏や、
ワシら考古学者の研究室をのぞくことができるイベントを
開催しておるんじゃ！

みんなの来館、待っておるぞ～！！



原の辻遺跡 ってどんなところ??



ここでは長崎県壱岐市。一支国博物館から見える長崎県で2番目に広い平野・深江田原に原の辻遺跡があります。この原の辻遺跡は、遺跡の国宝といわれる**特別史跡**に指定されています。

弥生時代の特別史跡は、全国で3例しかありません。

- ほかの特別史跡は・・・
- 静岡県・登呂遺跡
- 佐賀県・吉野ヶ里遺跡



魏志倭人伝から読み解こう!

日里到伊都國官曰爾支副
 人好捕魚鮪水無深淺皆所
 屬國有四千餘戶濱山海居
 田猶不足食亦南上市糶又
 可三百里多竹木叢林有三
 日瀚海至一大國官亦曰卑
 物自活乘船南北市糶又
 出險多深林道路如禽鹿徑

魏志倭人伝とは?

今から約1700年前に中国で書かれた歴史の本です。この中には弥生時代の日本のことが2008文字で書かれています。

壱岐のことは何と書かれているの?

「一大国（一支国）は卑狗と卑奴母離という偉い人が国を治め、家は3000軒あまり、やや田地はあるが、水田を耕してもみんなが食べるだけの量には足りず、北や南にある国と交易をして暮らしている。」

一大國（一支国）

魏志倭人伝には一支国が一大國と書かれています。この一支国の王都が原の辻遺跡です。

南北市糶

南【九州本島】北【対馬・朝鮮半島】市糶【米を買ったり交易をする】という意味です。一支国は海外との交流が盛んであったことが分かります。

30数か国の弥生のクニが登場するけど、唯一、クニとその都の場所が特定されているのが「一支国」なんだよ!



じんめんせき 人面石くん

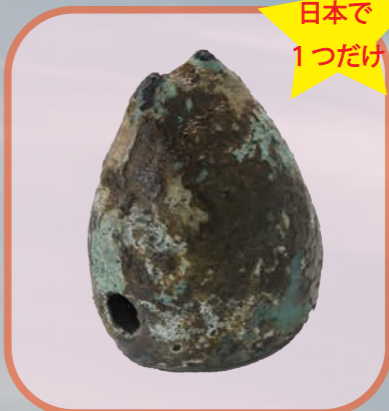
原の辻遺跡のこれがすごい!



日本で1つだけ

じんめんせき 人面石

人の顔のように作った、石でできた遺物です。お祭りのときに使われていたと考えられています。



日本で1つだけ

けん せいどうせい 権 (青銅製)

棹はかりに使うおもりです。モノの重さを量ることで公平な取引を行っていたと思われます。



日本最古

やしぶえ 椰子笛

流れ着いたココヤシの実を加工した楽器です。弥生時代にも音楽というものがあったことが分かります。



東アジア 最古

船着き場跡復元模型

船着き場跡

この船着き場は、当時の中国大陸や朝鮮半島の最先端の土木技術が用いられています。現在のところ東アジアで最も古い船着き場跡とされています。



環濠跡

集落の周りを囲む濠の跡からは、大量の土器などが発掘されています。日本のものだけでなく、外国との交流が盛んだったため中国や朝鮮半島の多種多様なものが出土することが特徴です。

きみのまちの遺跡

～佐世保市・平戸市・松浦市・東彼杵町・川棚町・波佐見町・佐々町～

1 泉福寺洞穴 (佐世保市瀬戸越)

世界最古級の「豆粒文土器」

佐世保市には洞穴の遺跡がたくさんありますが、泉福寺洞穴は世界最古級・1万3千年前の土器が発掘されたことで有名です。土器の上の方に豆粒状の粘土が貼り付けられていることから「豆粒文土器」と名付けられました。この時代は地球の気候が暖かくなり**ドングリ**の木が増えました。ただ、ドングリはアク抜きや加熱をしないと食べられません。土器の発明によって「煮る」調理ができるようになり、食べられるものが増えて**食生活が大きく変化**しました。



豆粒文土器

2 里田原遺跡 (平戸市田平町里免)

木で作った道具の宝庫

水田の下に眠っていた弥生時代の遺跡で、木で作ったクワやハシゴなど多くの道具が腐らずに残っていました。また、巨石をのせたお墓(支石墓)や甕の棺(甕棺墓)も見つかり、甕棺墓の中には全国でも12枚しか出土していない**多紐細文鏡**が供えられていました。



多紐細文鏡



ひしゃく形の木製品

3 鷹島海底遺跡 (松浦市鷹島町神崎免)

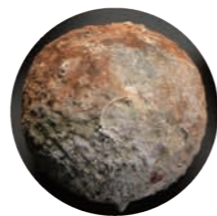
元寇で沈んだ軍船を発見!



見つかった船の合成写真(琉球大学、松浦市教育委員会提供(撮影・編集:町村剛))

船のかたちが分かるかな?

対馬・吉岐や博多と同じく元寇の主な戦場となった鷹島では、海底の発掘調査で「てつほう」や刀、元軍司令官の印鑑など多くの遺物が見つかっています。そして、2011年にはついに**元の軍船**が発見されました。



4 肥前波佐見陶磁器窯跡 (波佐見町村木郷ほか)

江戸時代に始まった焼き物の一大産地

波佐見町や隣の三川内、佐賀県有田町では、江戸時代の初め頃に日本で最初の磁器が作られました。波佐見町では30か所を越えるたくさんの窯跡が見つかっています。中でも特に古い畑ノ原窯跡は**連房式登窯**と呼ばれ、燃焼部の窯室が24ほど連なっており、

波佐見焼は、日本の食を支えただけではなく、海外への輸出品にもなったんじや



長さ50m以上になります。波佐見で作られた「**くらわんか茶碗**」は江戸や大坂(大阪)でたくさん使われました。



畑ノ原窯跡(はたけのはらかまあと)

5 ひさご塚古墳 (東彼杵町彼杵宿郷)

県内最大級の前方後円墳

ひさご塚古墳は西に大村湾を見渡せる海沿いにあります。東側の山を越えれば、佐賀平野と行き来することができる**交通の重要地点**です。海に漕ぎ出せば、湾の出入り口である早岐から東シナ海や玄界灘へとつながっています。全長58.8mと県内最大級の前方後円墳は**この地を治めた有力者の墓**と考えられています。この要地の目印にもなっていたことでしょう。



復元された前方後円墳

きれいな形だね~!



6 狸山支石墓群 (佐々町松瀬免)

大きな石をのせた支石墓

縄文時代の終わり頃から弥生時代の初めにかけて、**朝鮮半島から九州の西北部**に伝わったお墓です。甕棺や石棺の上に大きな石(掌石)をのせるのが特徴です。掌石の下には長さ50cmから1mに満たない石棺が見つかり、**ヒザを強く曲げて埋葬**する縄文時代の方法だったことが分かりました。



狸山支石墓群の掌石

7 麻生瀬遺跡 (川棚町麻生瀬)

板状の石で組んだ箱式石棺墓

麻生瀬遺跡は川棚川下流のほとりにあった遺跡で、弥生時代中頃のお墓がたくさん見つかりました。箱式石棺墓は弥生時代の**長崎県**で特に**多いお墓**です。石棺の長さは1.2m未満と短く、ヒザを曲げて埋葬する縄文時代からの方法が続いていたようです。



長方形の石棺の内部

きみのまちの遺跡

～島原市・諫早市・大村市・
雲仙市・南島原市～

1 黒丸遺跡 (大村市黒丸町周辺)

狩猟・採集から稲作へ

黒丸遺跡は、郡川によって形作られた扇状地にある遺跡です。主に**ドングリ貯蔵穴**や**石器**などの縄文時代のモノと、**木製農具**や**矢板***といった稲作の痕跡、それに**埋甕**や**壺棺墓**という土器で作られたお墓などの弥生時代のモノが見つっています。



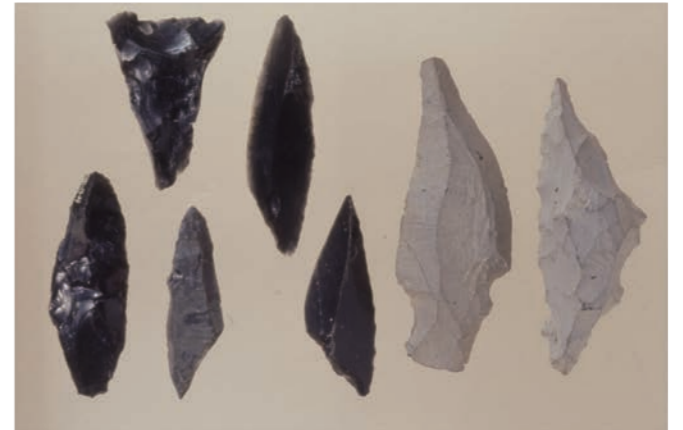
* 田んぼと田んぼを区切る畦(あぜ)を補強するための板

弥生時代のお墓である埋甕(うめがめ) [左]と壺棺墓(つぼかんぼ) [右]

3 百花台遺跡 (雲仙市国見町金山名)

西日本を代表する 旧石器時代遺跡

百花台遺跡からは、今から3万年以上前の**旧石器時代**の人が暮らしていた**痕跡**が見つっています。この遺跡の調査によって、旧石器時代人の使用していた石器の形が地層ごとに変化していることが裏付けられ、旧石器時代の研究が大きく進展しました。



黒曜石などで作られた石器。狩猟具や刃物として利用していた

4 大野原遺跡 (島原市有明町大三東)

縄文時代の土器を大量生産!

この遺跡からは、10万点を超える縄文時代の遺物が見つっています。また、多数の**粘土貯蔵穴***や**土器を焼いたと思われる痕跡**も見ついていることから、この場所では当時、村単位で土器作りを行っていたと考えられます。

* 土器の材料となる粘土を貯めておく穴

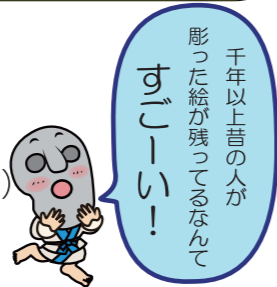


見つかった大量の土器(白い部分は復元)

2 長戸鬼塚古墳 (諫早市小長井町小川原浦)

クジラ漁の様子が刻まれた古墳

長戸鬼塚古墳は、有明海に面する丘陵の先端にある古墳で、7世紀前半(今から1400年前)に造られたと思われます。石室には**クジラ**や**舟の線刻画**が彫られています。このような絵が描かれた古墳は長崎県では3基しか見つかりません。その中でも特にキレイなまま残っているこの古墳の線刻画は、当時の諫早地域の様子を今に伝える貴重な資料です。



千年以上昔の人が彫った絵が残ってるなんてすごいー!



古墳の外観。墳丘(ふんきゅう)と呼ばれる



石室内に彫られた線刻画 [右] 上のような図柄が確認された



線刻画のある石室

5 原城跡 (南島原市南有馬町乙)

島原の乱での キリシタンの本拠地

原城跡は、1637年に起こった日本史上最大規模の一揆である「**島原の乱**」の際に、**天草四郎**らキリシタンたちが立てこもったお城です。発掘調査の結果、多くの人骨のほか、十字架・メダイ・ロザリオ等のキリシタン関係の遺物が数多く見つっています。



空中写真撮影による原城跡の遠景



このページでは、右の五つの市の遺跡を紹介するよ!

きみのまちの遺跡

～長崎市・五島市・西海市・長与町・
時津町・小値賀町・新上五島町～

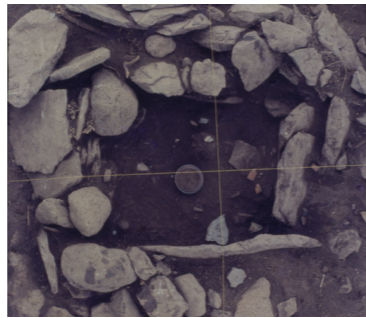
1 神ノ崎遺跡 (小値賀町黒島郷)

島中石棺だらけ!

弥生～古墳時代の遺跡で小値賀島に隣接する黒島にあります。石棺が多数発見されており、九州では出土例の少ない板状鉄斧や陶質土器・丁子頭勾玉なども出土しています。また、九州南部でしか分布が知られていない特殊な構造のお墓である板石積石棺墓などが発見されています。



丁子頭勾玉



板石積石棺墓



板状鉄斧

2 頭ヶ島白浜遺跡 (新上五島町友住郷)

朝鮮半島との文化交流があったかも?

縄文時代・江戸時代の遺跡で、すぐそばには頭ヶ島天主堂(国重要文化財)が建っています。縄文土器や石器、近世のお墓などが見つかっていますが、特に韓国隆起文土器は五島列島初の出土で、朝鮮半島との交流を示す貴重な資料です。

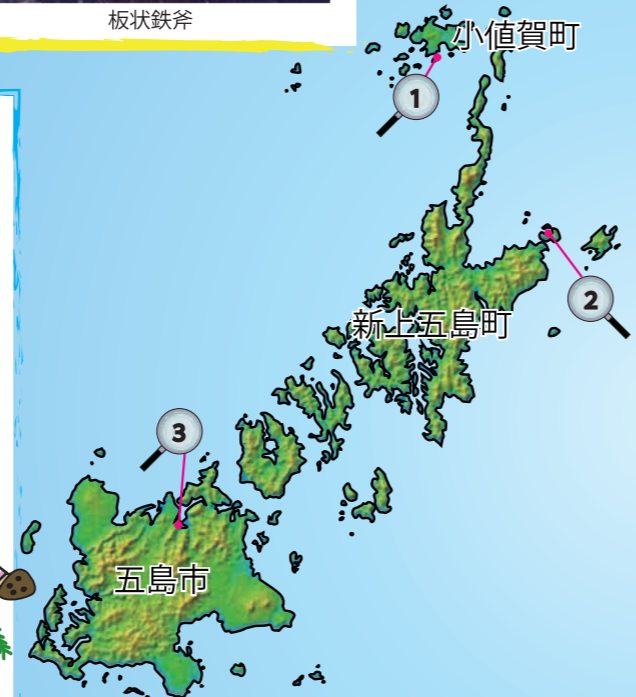


頭ヶ島天主堂



韓国隆起文土器

小さな土器のかけら
だけとても重要な
ものなんだね



3 茶園遺跡 (五島市岐宿町岐宿)

日本最西端の旧石器時代遺跡

旧石器～縄文時代の遺跡としては日本最西端に位置しています。遺跡には4つの文化層があり、その層ごとに異なる石器群が発見され、旧石器時代から縄文時代への移り変わりを知ることができる貴重な遺跡です。



石槍(いしやり)と
いう棒の先にくくり
つけて使うんじゃ!



4 前島古墳群 (時津町子々川郷)

島につくられた共同墓地

前島・嶽島の2つの島にある古墳群です。島には古代人が生活した跡は見つかっておらず、墓地として使っていたようです。写真の石棺には副葬品*の壺がほぼ当時の形のまま残っていました。

*亡くなった人と共に埋葬される物



箱式石棺

5 ホゲット石鍋製作所遺跡 (西海市大瀬戸町瀬戸羽出川郷)

古代～中世ごろ日本中に流通した石鍋の一大生産地

大小11か所からなる製作所で国内最大規模です。石鍋は主に煮炊きに使用された道具で、滑石という軟質で加工しやすく保温性に優れた石で作られています。古代・中世の日本各地に広く流通していました。遺跡名にあるホゲットとは、長崎弁で穴があくという意味のほげ(ほげとる)からきています。



こうやって石鍋が
できていくんじゃ



6 長与三彩窯跡 (長与町嬉里郷)

幻のやきもの「長与三彩」

長与焼は『大村郷村記』の中で「珍敷焼物」と紹介されています。特に長与三彩は、大変珍しい焼物だったので、現在でも出土例があまりありません。



長与三彩(長与町教育委員会蔵)



玖島城跡から出土した長与三彩

7 長崎奉行所跡 (長崎市立山・江戸町)

近世長崎を代表する遺跡

江戸時代、幕府は外国との貿易を行う窓口として重要だった長崎を天領にし奉行所を置いていました。長崎奉行所は今でいう県庁・警察・裁判所といった役割のほかに、中国やオランダとの貿易の管理や長崎港の警備も行っていました。2か所に分かれていて現在の旧長崎県庁(西役所)と長崎歴史文化博物館(立山役所)の場所にありました。



正門の階段

【出土品】



十手



花十字紋瓦
奉行所が作られる前に
キリスト教会が建て
ていた可能性を示す資料。



蓋付き青花鉢(チュリーン)
国内では2例しか出土していない
珍しい青花鉢。



コンプラ瓶
この瓶の中にしょうゆ
やお酒を入れて海外と
貿易をしていました。



きみのまちの遺跡

～対馬市・壱岐市～

1 かねだじょうあと 金田城跡 (対馬市美津島町黒瀬 周辺)

倭国の国境防衛拠点

金田城は、今から約 1300 年前に唐 (現在の中国) や新羅 (現在の朝鮮半島) からの侵攻を防ぐため、山の上に築かれたお城です。このような山の上に築かれた防御力の高いお城は「山城」と呼ばれます。山頂を取り巻くように、尾根に沿って長さ約 2.8km の石塁 (石で作った土手) が造られました。



櫓台が設置されていた一ノ城戸の石垣

城門の跡とされる三ノ城戸

2 カラカミ遺跡 (壱岐市勝本町立石東触)

日本最古がゾクゾク見つかる遺跡

原の辻遺跡と関連のあった集落跡だと考えられている遺跡です。大規模な農耕は行わず、漁や交易を生業としていたと思われます。これまでの調査によって、この遺跡からは、日本最古のイエネコの骨や日本最古の文字の彫られた土器が見つかります。



「周」という文字が彫られた瓦質土器

カラカミ遺跡の大溝状遺構 多数の土器が出土した

対馬や壱岐などの国境離島は昔から大陸 (現在の中国や朝鮮半島) と日本本土をつなぐ重要な交易ルートだったんだ。



おわりのことば



ここまで遺跡の紹介をしてきたけど、どうだったかな? みんなにちょっとでも興味を持ってもらえたならうれしいけれど、いくつかお願いもあるんだ。

今回紹介した遺跡は、長崎県の遺跡でもほんの一部だけなんだ。

最初のページにもあったとおり、長崎県内ではおよそ 3,800 の遺跡が見つかっているんだけど、まだまだ見つからない遺跡はたくさんあるんだ。そして、遺跡の調査はほぼ毎日、県内のどこかで行われているんだ。もしかしたら、きみの家や学校の下にも遺跡が眠っているかもしれないね。

もし発掘調査現場を見てみたいときは、そこにいる調査員さんに声をかけてみてね。ただし、発掘中の現場には足もとにたくさん穴があつたり、大きな機械が置いてあつたりして危ないから、誰もいないときは勝手に入ってはいけないよ。

このハンドブックを持って、先生やきみのまちの人たちと、遺跡について考えてもらえるとうれしいな。

最後に、遺跡は山や森の中だったり、少し危険な場所にあるものもあるんだ。だから、遺跡に行きたいと思ってくれたきみ、その遺跡がどんな場所にあるのかをよく調べてみて、実際に行くときは、必ず大人の人といっしょに行くようにしてね。



資料提供

- ・国土地理院 p.7,8,9,11,12,13 に色別標高図を改変して使用 (海域部は海上保安庁海洋情報部の資料を使用して作成)
- ・佐世保市教育委員会 ・島原市教育委員会 ・平戸市文化観光商工部文化交流課
- ・松浦市教育委員会 ・対馬市教育委員会 ・壱岐市教育委員会 ・南島原市
- ・長与町教育委員会 ・東彼杵町教育委員会 ・川棚町教育委員会 ・波佐見町教育委員会
- ・小値賀町教育委員会 ・新上五島町教育委員会
- ・琉球大学



長崎県埋蔵文化財センター・壱岐市立一支国博物館

①	タイトル
②	③
④	⑤

表紙写真

- ①川端遺跡空撮（大村市）
- ②原の辻遺跡出土の勾玉（壱岐市）
- ③諫早農業高校遺跡の中世墓（諫早市）
- ④原の辻遺跡調査風景（壱岐市）
- ⑤鷹島海底遺跡水中調査風景（松浦市）

子どもたちのための考古学情報誌
 「キッズこうこがく」第14号（平成30年3月）
 発行：長崎県埋蔵文化財センター
 長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触 515-1
 電話：0920-45-4080
<http://www.nagasaki-maibun.jp/>
 Facebook による情報発信も行っています。